



↑ 1 中学校女子の一斉スタート（浅利純子杯）2 八千代工業チームが念願の初優勝 3 大健闘した鹿角陸上競技協会チーム（以上、十和田八幡平駅伝）4 フランスから参戦した選手の力強い走り（全日本ローラースキー）

## スキーと駅伝のまち 真夏の鹿角を駆け抜ける

浅利純子杯争奪第11回鹿角駅伝が7月29日、花輪商店街で開催されました。未来を担う小中学生アスリートらの懸命な走りに、沿道からは大きな声援が送られました。また、第70回記念十和田八幡平駅伝競走全国大会が8月7日、十和田湖休屋から八幡平大沼までの5区間で開催され

ました。レースは、1区から先行した八千代工業チームが悲願の初優勝を果たしました。

2年ぶりに出場した鹿角陸上競技協会チームは10位と大健闘し、沿道の観客を沸かせました。

8月11日～12日には花輪スキー場で第28回全日本ローラースキー選手権大会が開催されました。地元の小中学生からトップクラスの選手まで一堂に会し、熱戦を繰り広げました。



↑ 1 多くの観客を熱狂の渦に巻き込んだ花輪ばやし 2 勇壮、華麗に打ち鳴らし、夏の空に太鼓の音を大きく響かせた大湯大太鼓 3 糸乱れぬ動きでかがり火を囲んで踊る毛馬内盆踊り



## 多くの観衆を魅了 鹿角を彩る 伝統の夏祭り

今年も鹿角の夏を盛り上げる伝統の祭りが行われました。8月15日には、大湯大太鼓まつりが開催されました。勇壮な太鼓の音が温泉街に響き渡り、迫力の演奏は観客を圧倒しました。8月19日～20日には、ユネスコ登録後初となる花輪ばやしが開催されました。10町内の豪華絢爛な屋台が一堂に会する最大の見どころ「駅前行

事」には多くの観光客が所狭しと押し寄せ、若者の活気ある演奏にたくさんの歓声を送っていました。8月21日～23日には、毛馬内盆踊りが開催されました。勇ましい「呼び太鼓」の後に行われる情緒豊かで優雅な輪踊りは、指先まで繊細で美しく、こもせ通りに並んだ観客を幻想的な世界へ誘いました。

## 鹿角市成人式 新成人の門出晴れやかに

8月16日、鹿角市成人式が文化の杜交流館コモッセで開催され、対象者291人のうち、230人が出席しました。会場では華やかなドレスやスーツ姿の新成人が友人

との再会を喜び合う姿が見られました。式典では、新成人を代表して小笠原一嘉さんが、「この20年間私たちを見守り育ててくれた家族と地域の皆さまに感謝します。今まで

に経験したことのない刺激が数多くある中で、その刺激に負けない、自らが選択できる大人へと成長していきます」と晴れやかに新成人の門出の誓いを述べました。



↑ 友人との再会を喜び合う新成人たち。



↑ 個人選抜5年生の部で優勝を飾った石井鳳獅選手（花輪北小）の力強い取組は小学生とは思えないほどの迫力でした。

## 八幡平相撲大会 歴史ある大会で小学生力士が奮闘

8月15日、第38回八幡平相撲大会が八幡平相撲場で開催され、青森県、岩手県を含めた計95人の小学生力士が奮闘

士が力をぶつけ合いました。応援席には多くの保護者や観客が詰めかけ、女子選手や小柄な選手が登場すると、ひととき大きな歓声があがりました。本市選手も奮闘し、個人選抜2年生の部では今野功人選手（八幡平小）が、5年生の部では石井鳳獅選手（花輪北小）が優勝を飾る活躍を見せるなど、会場は大いに盛り上がりました。

百歳長寿顕彰式 大里ハマ子さん 百歳を祝う

大里ハマ子さん（花輪）が8月3日に満100歳の誕生日を迎え、児玉市長が顕彰状と祝い金を贈り、長寿をお祝いしました。ハマ子さんは大正6年に岩手県安代町で生まれ、小学校卒業後、花輪の洋裁学校に通いました。21歳のとき、花輪ののこぎり工場を営む大里徳也さんと結婚し、工場を切り盛りしてきました。

だが、夫や長男が若くして亡くなったため、人一倍苦勞して工場を守ってきました。「家族の分も長生きしなければ」が口癖だったそうです。和裁が得意で、着物を縫うのが上手でした。また、スイカとたんぼが大好きで、よく杉の串を作り、米をつぶしてたんぼを作って家族にふるまっていたそうです。



↑ 顕彰式は入所中の東恵園で行われ、家族らが祝福しました。